

# よつ や たかばり 市道高速 1 号四谷高針線(四谷～高針)

受賞機関 名古屋高速道路公社

## はじめに

名古屋高速道路は、名古屋市の外周を一巡する環状 2 号線と一体となり、名古屋市域への流出入交通の円滑化を図り、あわせて都市内の平面街路の混雑を緩和することにより、自動車交通の円滑化に寄与し、都市内を高速で通行できる道路として機能することにより、当該市域及び関連する周辺地域の一体的な都市機能の維持、増進を図ることを目的とした延長 81.2km の自動車専用道路である。

平成 15 年 3 月に開通した市道高速 1 号四谷高針線(四谷～高針)は、高針で国道 302 号・東名阪自動車道を経て東名高速道路に接続する。四谷ではすでに開通している千音寺～四谷と接続し、これらの区間と一体となって名古屋の東西両端を貫通する新たな幹線道路となる。

## 事業の概要

延長：約 3.6km

トンネル区間 2.8km

高架区間 0.8km

工事期間：平成 6 年 4 月～平成 15 年 3 月

総工事費：1,670 億円



トンネル完成図

## 事業の特徴

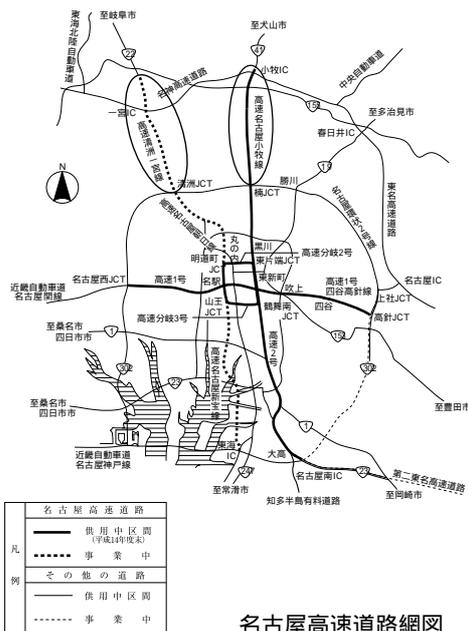
今回開通した区間は、名古屋市東部の東山丘陵地を通過するもので、延長約 3.6km のうち、2.6km 区間を山岳トンネル工法で施工した。

この区間は、東山公園及び名古屋大学のキャンパスが広がる文教地区とマンションや民家が立ち並ぶ閑静な住居系地域を通過することから、トンネル構造を採用し、沿線の環境対策に配慮した。

トンネル工法については、市街地の土砂地山における大断面トンネルであることから、専門家の意見を取り入れ種々検討した結果、最も経済的な NATM を採用し、地表面に与える影響が少なくなるように色々な工夫を行っている。

地表面沈下を抑制するための補助工法として、トンネル掘削に先立ち、長尺鋼管先受け工により施工するとともに、各種補助工法を併用して地表面への影響を最小限に押さえて施工した。

**受賞賛助会員** アイサワ工業(株)名古屋支店、(株)安部工業所中部支店、石川島播磨重工業(株)中部支社、(株)荏原製作所中部支社、(株)大林組名古屋支店、大林道路(株)中部支店、(株)大本組名古屋支店、川崎重工業(株)中部支社、川鉄橋梁鉄構(株)名古屋支店、川田建設(株)名古屋支店、(株)熊谷組名古屋支店、(株)コミヤマ工業中部支店、五洋建設(株)名古屋支店、佐伯建設工業(株)名古屋支店、清水建設(株)名古屋支店、新日本製鐵(株)名古屋支店、大成建設(株)名古屋支店、大成ロテック(株)中部支社、大有建設(株)、(株)竹中土木名古屋支店、東亜道路工業(株)中部支社、(株)東芝中部支社、東洋建設(株)名古屋支店、西松建設(株)中部支店、日本橋梁(株)名古屋営業所、日本国土開発(株)名古屋支店、日本道路(株)中部支店、日本舗道(株)愛知支店、(株)間組名古屋支店、(株)ビーエス三菱名古屋支店、(株)福田組名古屋支店、(株)富士ビー・エス名古屋支店、(株)フジタ名古屋支店、前田建設工業(株)中部支店、前田道路(株)中部支店、松尾橋梁(株)名古屋営業所、三井住友建設(株)名古屋支店、三菱重工業(株)中部支社、りんかい建設(株)名古屋支店、若築建設(株)名古屋支店



名古屋高速道路網図